

ふみびと

第343
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

住めば都への 胸高鳴る旅路

旅立ちのとき

長く暮らしていた実家を離れた時。いずれはそこを離れる日が来るとは分かっていたても、慣れ親しんだ家を出るときというのは、寂しさがあるもの。ひとり立ちしたという実感と、新たな生活への期待がありつつも、一回り以上狭くなるアパートで生活を始めるのは、少し窮屈な気がしていました。

家に帰れば明るい玄関、温かいご飯とお風呂が用意されている子どもの頃の「当たり前」は当然そこにはなく、何でも自由にできる代わりに、何でも自分で行わなければならぬ不自由さに初めの頃は戸惑っていたものです。

それでも何年か経った頃にはやっぱり家に帰れば落ち着くようになるし、自由と不自由も楽しめるように。また何年か後にその「ホーム」を離れる時には、やはり同じように寂しさを感じるまでになっていました。



久しぶりにじっくりと読書をした。よく練られた物語は、初めは読み進めるのに時間がかかったけれど、次第に精密な世界観と文章が心地よくなり、ページを捲る手が止まらなくなった。最後は読み終えるのが惜しい気持ちになりながらも、一息に読んでしまった。目をつぶり物語の余韻に浸る。

満足のため息をついて、現実の世界にゆっくりと意識を引き戻す。静かにあたりを見渡し、まわりの音に耳を澄ませる。本を読む前にくらべて、現実の世界も、ほんの少しだけけれど鮮明に豊かに変わった。

静寂の中

た気がする。それが、物語が自分の中にしっかりと根づいたように感じられて、もう一度深いため息をつく。忙しい毎日、なかなかじっくりと本を読むのは難しいけれど、こうした感覚は読書でしか得られない。これからも物語を楽しむことを忘れずにいたいと思う。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方は簡単♪下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の返封筒に宛封下まで流し交わります。



次回発送日

4月の発送日は22日の予定です。送りたいお手紙がある場合には19日までに事務局に到着するようお願いください。

お知らせ

★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたい。方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せた上でご紹介させていただきます。なお、今後文通村の村人検索に新しい機能が追加される予定です。どうぞお楽しみに。